

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第7期第1回 豊島区環境審議会
事務局（担当課）		環境清掃部 環境政策課
開 催 日 時		令和8年6月12日（金）13時30分～15時30分
開 催 場 所		豊島区役所本庁舎5階 509、510 会議室
議 題		1 開 会 2 議 題 （1）豊島区環境基本計画（2025-2030）について （2）区内の温室効果ガス排出量について 3 その他 令和8年度新規・拡充事業等について 4 閉 会
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 1名
	会 議 録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
出席者	委 員	蟹江憲史、関礼子、岡山朋子、高橋正弘、竹内智子、村山顕人、足立憲昭、天野純子、石井豪、小川巧、島沢明史、中山映未、深澤浩一、梅舟由佳、岡村弘孝、小林駿斗、水埜多喜子、村上政美、澤田健（環境清掃部長）（敬称略）
	そ の 他	企画課長、総務課長、危機管理課長（代理出席）、施設整備課長、環境保全課長、ごみ減量推進課長、豊島清掃事務所長、生活衛生課長、都市計画課長、地域公共交通担当課長、自転車対策担当課長、道路整備課長、公園緑地課長、学校施設課長、指導課長（代理出席）
	事 務 局	環境政策課長、環境政策担当係長（環境計画・調整・事業）、同主事3名

審 議 経 過

【開会】

委員の委嘱及び紹介に続き、会長及び副会長の選出について

【議事(1)】

○会長

それでは、議題に移らせていただきます。

事務局からご説明のほどよろしくお願いします。

○環境政策課長

資料第 1-3 号、資料第 1-4 号説明

○会長

ありがとうございます。

それではご意見、議論に移りたいと思います。議題(1)豊島区環境基本計画についてと、議題(2)区内の温室効果ガス排出量について、まとめてお伺いできればと思います。

オンラインの方もよろしくお願いいたします。

○副会長

区長の話から始まり、非常に重要な、積極的な試みをなさっているということですが、一方で最近の豊島区の課題としてスーツケース問題や民泊問題、いわゆる海外からの方々との問題が生じているということでありました。

豊島区には外国籍の方も暮らしていらっしゃるかと思いますが、一般的に外国籍の方々と住民との間で軋轢が起こるのは、ごみ問題をきっかけにしているということもございます。若者、子どもだけではなく、外国籍あるいは外国につながる方々も多文化共生的な意識から入れてもいいのではないかと感じました。

○会長

ありがとうございます。ご意見ということですがお願いします。

○環境政策課長

ありがとうございます。現在、豊島区は外国籍の方が多いということで、豊島区の人口全体では6月1日現在で29万7511人、約30万弱ということですが、そのうち外国籍の方が3万8902人と、約13%が外国の方です。様々な文化を背景とし、100以上の国や地域をルーツとする方々が豊島区内にいるというところでございます。さらには在住外国人の対応につきまして、地域ではごみの出し方や生活騒音などの問題が発生しておりますが、こうした外国籍住民との共生を進めていくため、今年度、区民部に多文化共生課の専任組織を区民部に設置いたしました。この組織を中心に、庁内の様々な部署と連

携し、地域の外国籍住民との相互理解や共生を進めていくことが重要であるということで、組織を作ったところでございます。また、海外からお越しになる旅行者も増えていますので、スーツケース問題、そういったことも含めて全庁的に対応を進めていくというところでございます。

○会長

ありがとうございます。先程の話で気になったのが、スーツケースが廃棄されているという話でしたが、リサイクルできないのかなと。去年も 290 個あったということなので、ということはリサイクルあるいはリユースというのも、将来的には考えてもいいのかなと思います。

○委員

プランターとかにも使っていましたよね。ホテルはプランターか何かにリユースしているようです。

○会長

なるほど。いろんな無駄にしない方法も含めて、環境部門のすることではないかなと思いますので、そういうことも考えていければいいのかなと思いました。

○会長

その他、ご意見いかがでしょうか。それではお願いします。

○委員

ありがとうございます。業務部門がまさに 4 割を占めるということで、重いなと思いながら資料を拝見していたところですけども、このグラフを見ていると令和 2 年度くらいから少し下げ止まりの傾向も見えるなと思っておりまして、おそらくは平成 25 年の時から比べると、高効率のエアコンや調光型の LED、ある程度はもう対応しているのかなと思って拝見をしていました。一方で、豊島区となるとサービス型の産業が非常に多く、テナントビルに大体は入居しているかと思いますが、テナントの方が勝手に設備を変えるわけにはいきませんので、ビルオーナーの了承が必要です。ビルオーナーにとっては設備投資しなきゃいけないのに、電気料金が安くなるのはテナントさんなので、そのスプリットインセンティブみたいな問題は非常にあるのかなと思っております。この 44%をどうやって削減していくのかについては、調査的なものですかね、ビルオーナー的なところが問題になっているのがどのくらいあるのか、未だにやはり高効率のエアコンや調光型 LED に対応できてない事務所がどのくらいあるのか、そういう目安的なものが取れているのかなというのが気になったところです。わかったら教えていただければ幸いです。

○会長

ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

○環境政策課長

具体的な数値は持ち合わせておらず大変恐縮でございます。先程もおっしゃったように、コロナ以降ですね、コロナの時には自宅でテレワークのような形で自宅の電力の使用が増え、業務部門が若干減る傾向が見られ、その後またテレワークから職場に集まるようになり、例えば池袋駅の利用者数もだんだん増えてきているところもございます。これは業務だけではなく、観光というのもあるとは思いますが、そういった形で社会情勢の変化に影響を受けるところがございます。一方、先程おっしゃった様々な設備の省エネ化が進んでいるところもございまして、そういった中でエネルギーの使用量が増えても二酸化炭素の排出量についてはかなり省エネ化が進んでいるという現状がございます。

○会長

ありがとうございます。設備面はやはりインセンティブがあった方が、オーナーとしてはなかなか動かせないと思うので、大事だなと思いますし、区でできる施策などがあれば、今後考えていっても良いのかなという感じがしました。それからやはりビル全体で電力をどうするか、そういうところにも多分この数字の頭打ちをどうするのかというところに関わってくるような気がします。豊島区だけの問題ではないと思いますけれども、その課題を解決することが、そこからまた一段削減するための方策になると思いますので、ぜひそういったことも考えて、アイデアがあればこの審議会の委員の方からも言っていたらと思います。

○委員

先程の外国籍の方、うちの隣のアパートにも結構多く住んでらっしゃるのですが、トランクですね。これは事務局にお伺いしたいのですが、やはり外国籍の方にスーツケースを捨てたいのだと。もう新しいやつ買ったから捨てたいのだと、もし聞かれた場合に、我々区民だと普通は粗大ごみじゃないですか。粗大ごみのシールを買って、この日に出してくれとか、連絡をしてというふうなことを伝えても、彼らはわからないですよ。こういった場合、どこに連絡をした方がいいのでしょうか。

○豊島清掃事務所長

今のご質問は、旅行者のお話ですか。それとも住んでらっしゃる外国人の方でしょうか。

○委員

民泊ですから旅行者の方です。

○豊島清掃事務所長

旅行者の方から捨てたいというお問い合わせがありましたら、持ち帰ってくださいとしか言いようがないです。ごみとして処分はできません。ではどうすればいいかというお

話になりますので、先程お話があったかと思いますが、どういうふうのリサイクルや修理して新しく再生するかなど、行政ではなかなか難しいので、民間の力をお借りして何とかできないかと今検討しているところです。ごみとしては、旅行者に関してはとにかく豊島区にあのような大きな粗大ごみのようなものは捨てられません、というのが原則です。これは法律上もそのようになっています。

○会長

法律上もそうなっているということですね。

○委員

現実的にはやはり放置する方は増えますよね。

○会長

民泊のオーナーの方が粗大ごみとして捨てる形になるのでしょうか。

○ごみ減量推進課長

民泊のオーナーに渡して捨てる場合は、事業系のごみになりますので、粗大ごみのシールを貼って出してもらうわけにはいきません。民泊等を開いている事業者の方は、必ずその廃棄物を捨てる業者と契約しているはずですので、自分たちが契約している業者の人に頼んで処分してもらうことになります。

○会長

ありがとうございます。そういう流れだということですね。そのあたりは少し周知した方がいいのかもしれないですね。その他いかがでしょう。

○委員

今の件ですが、自治体の民泊では同居型と不在型があり、いろんな課題というのは不在型の中で出てくるので、今連絡しようとか、そういう部分でも先が見えないわけです。そういうことが現実の課題じゃないかなと思っています。

○会長

なるほど。オーナーが事業系のごみとして扱えるということであれば、もしそういうものがあれば特定の場所に残してくださいとか、そういうことを周知したらいいのかもしれないですね。

○会長

ありがとうございます。オンラインで挙手されていますので、お願いします。

○委員

話がまた二酸化炭素の排出量に戻ってしまうのですけれども、資料第 1-4 号の 3 ページ目に家庭部門の CO₂ 排出量の推移があり、豊島区の場合、人口や世帯数が増えているにも関わらず CO₂ の排出量が下がっているというとてもいい傾向だとは思いますが、この要因についてどのように区として考察されているか教えていただければと思いました。

もしかすると、住宅の建物や設備の更新がどんどん進んで、効率が良くなって減っているのかもしれないのですけれども、住宅の更新あるいは設備の更新が一通り済んでしまうと、同じような勢いで減少が期待できなくなってしまって、また別の方策も考えなければいけないと思ひまして、お聞きする次第です。

○会長

ありがとうございます。それでは事務局からご回答をお願いします。

○環境政策課長

先程のご質問、ごもっともなことだと考えております。おっしゃったように各家庭の省エネの取り組みですとか、省エネ設備機器の普及、それによる更新というものが要因の一つとして大きな要素かと思われております。後程ご説明させていただきますけれども、区としてもエコ住宅の助成事業を進めておりまして、申請もかなり増えているところです。さらには、CO₂ 排出量につきましては、資料説明の冒頭でオール東京 62 区町村共同事業のプロジェクトの中で、統計を計算して算出したところですが、東京都全体でも最近の CO₂ 排出量が減少しているところです。要因といたしましては、CO₂ 排出量を算出するにあたって、実際の活動量、電気使用量、それに対して排出係数をかけて CO₂ 排出量を算出しているところではございますけれども、この排出係数にあたりましては、火力から再エネの割合が変わってきたところもあり、最新の数字は令和 5 年度で平成 25 年度から比べて排出係数も 22%低下しまして、各家庭での取り組み、そして社会全体として環境に優しい高効率な電力発電に切り替わってきている社会的な状況も合わせての原因ではないかというふうに分析しています。

○委員

ありがとうございます。

○会長

オンラインで挙手されていますので、お願いします。

○委員

ありがとうございます。その一つ前のスライドで引っかかっていたのですが、前のページに業務部門の CO₂ 排出量の推移がございます。こちらでも減少傾向に見えるのですが、先程ご説明があったように、都の試算によるものなのかなと思われます。東京都では、こちらの事業部門の CO₂ 排出量について報告がないところが結構あるのではないかという研

究がされておりまして、その中でも実は多量の CO₂ 排出者であるにも関わらず捕捉ができていないのが学校であると報告されております。そうしますと、学校は今、グラフ上ではとても少ないように見えますけれども、実際のところ、もしかすると学校からの CO₂ 排出量が高まっている可能性があると思われます。と言いますのは、やはり毎年のようにどんどん暑くなる期間が増えて、夏休み前に空調を入れなくてはいけないとか、そういうことでおそらく電力使用が増えているからだと思われます。そうすると、例えば豊島区の小・中学校においては、できるだけ学校施設の窓断熱であるとか、そういったことを進めていくことで (CO₂ 排出量を) 減らせるということもあろうかと思しますので、住宅へのエコ住宅への補助金のみならず、小・中学校の断熱改善を進めていただきたいなと思いました。

もう一つは環境計画の方です。資料第 1-3 号ですが、こちらの目標 3 は資源循環、4 が快適環境ということになっています。目標 3 はいいのですが、目標 4 で特に美化の部分です。先程のスーツケースもそうですが、おそらくは区民ではなくてごみのポイ捨てをしているのは区に来ている通勤者であるとか、来街者であるというふうと考えられます。ですので、ポイ捨てについても区民の環境美化の高まりだけで、これからどうやっていくのかなという点が少し不安に思っています。こちらはどのようにお考えでしょうか。

○環境政策課長

学校施設の環境、設備関係の取り組みは、学校施設課長からご説明させていただきます。

○学校施設課長

たしかに学校を新しく建て替えるとか、そういった時にはしっかり断熱性能だったり意識しながら空調性能も高効率なものを入れるなどの取り組みができていますが、一方で、学校も古い建物が多くなってきていますので、そういった学校の断熱対策だったり少し課題があるのかなと考えております。今後、断熱・遮熱対策をしっかり進めていく中で、そういった観点も大事にしながら進めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

○環境政策課長

続きまして、環境美化の方でございますけれども、スーツケースは民泊の話も出ましたけれども、外国人旅行者が増えている。それだけではなくて、もしかしたら日本人でも様々な地域から豊島区に集まってくる、スーツケースを抱えている方も大勢いらっしゃる場所がございます。そういったポイ捨てにつきましても、豊島区に働きに来る、学びに来る、区外からの来街者というのも多数いらっしゃると思しますので、そういった方々への周知、例えば広報ですとか、ホームページだけではなかなか伝わりきれないところがあると思しますので、手法につきましてはさらに研究が必要かと思っております。

○会長

ありがとうございます。それではお願いします。

○委員

ご説明ありがとうございました。私から一つ質問、一つ意見を述べさせていただきます。まず質問ですが、温室効果ガスの排出量について、緑の吸収やオフセットも実施されていると思うのですが、緑の寄与率がどのくらいか、こういった傾向にあるのかについて伺います。

意見としましては、私は緑関係の専門なので緑についてコメントします。先程区長がおっしゃったように、環境基本計画の目標の中にも緑が強調されています。この中で「グリーンとしま再生プロジェクト」が計画に述べられています。実は、宮脇 昭先生の植樹（方式）で、17年間続けている事業です。先月ヨーロッパの都市樹林の国際会議に出席してきましたが、最近ヨーロッパでは都市の樹林づくりが流行しています。私は、宮脇方式を取り入れている世界の最先端の事例として、豊島区のプロジェクトを紹介してきました。このアプローチの素晴らしいところは、区民、市民など都市住民、特に子どもたちが、苗から植えて参加できるという点で、ヨーロッパでも評価されています。けれども、現状を調査すると、都市ならではの問題があります。管理があまり必要ではない、ということで始まったのですが、やはり都市に対してはそうではない部分がいろいろ見えてきているので、議論を始めなければいけないとも思っています。実際に豊島区では緑化、植樹が最近進んでいて、素晴らしい成果を上げていますが、今後、植えた木をどうやって育てていくのか、もう少しそういった整備から維持管理へ、人材や予算もシフトしていかなければいけないと考えています。成長した緑により樹冠被覆率が向上し日陰が増え、緑地としての効果を発揮できるように、現場で頑張っている人たちに対する何かサポートの方にも、今後力を入れていっていただきたいと思います、意見として申し上げます。

○会長

ありがとうございます。関連してお伺いしたいのですが、最近割と公園の木が倒れたりしていますよね、そういうのもやはり今の話と関係してくるのですか。

○委員

私も最近よく聞かれることが多いのですが、やはり気候変動で相当樹木も弱っていること、インフラを大量整備した高度成長期に都市の樹木も多く植えられていた部分がありますので。植栽のスペースがもともと狭いところで樹木が大きくなり弱っているなど複合的な要因があると思います。

○環境政策課長

ありがとうございます。CO₂ 排出量の中での緑の吸収量というところは、化石燃料の使用量というのがメインで、吸収量につきましては入っていないかと思いますが、こちらの確認をさせていただきたいと思っております。さらに、グリーンとしま再生プロジェクトということで、私も今年度環境政策課長に着任して、いのちの森、学校の森ということで、様々な会場で育樹、植樹、それから剪定に地域の皆様と一緒に作業に関わらせていた

だいて、かなり樹木が伸びており、日頃から地域の方が管理されている公園、例えば、はらっぱ公園でもそのような状況は見られるのですが、特に学校等でもかなり伸びていまして、近隣の方から対応してほしいという声もいただいていると聞いております。そういった維持管理の面で、末永く育樹するためにどうすればいいかというのは検討が必要かと考えております。

○会長

ありがとうございます。お願いします。

○委員

2点質問がございまして、まず1点目が環境基本計画のところです。本当に素晴らしいものだと思ひまして、今拝見すると2つ、通常環境基本計画のバージョンと小学生向けのバージョンがあるということで、これも本当に若年層まで広げていく中で非常に素晴らしいと思う一方で、小学生と大人の間、例えば中高生みたいなところだと、一定の発育の段階というところも踏まえてあるのかなと思ひていて。そうした中で小学生だけではなく、中高生、幅広い年代にこうした環境基本計画や豊島区の方針を広げていくところでお考えがあればお伺いをしたいと思ひます。

合わせて2点目ですけれども、こうした中高生もしくは大学生のようなところの産学連携みたいな部分も、環境政策を考えていくのに非常に重要なのかなと考えておりまして、事例ごとに立教大学さんや学習院大学さん、大正大学さんと連携されているということは存じ上げてはいるのですが、全体としてこうした豊島区の環境ゼロカーボンシティを目指していく中での産学連携みたいなところについてのお考えもあれば合わせてお伺いできればと思ひます。

○会長

ありがとうございます。非常に重要な点かと思ひます。

○環境政策課長

豊島区環境基本計画本体の計画と合わせて、子ども版の計画を2種類作っています。この計画の作成にあたりましては、子どもたち、区内の高校生、大学生等を集めてどのようなまちになってほしいか、環境に優しいまちを実現するためには何をしたらいいかという声を吸い上げて、実際22名の区内高校生、大学生が集まり、この計画を作り上げました。こうしていただいた声につきましては、計画中に若葉マーク、葉っぱのマークが明記されているところです。今後、区の施策を進めるにあたりましては、様々な声、現在の豊島区基本構想基本計画におきましても、外国人や子ども、若者、様々な方からのご意見をお伺いしてまいりまして、先程区長からも子どもの声というふうなところもありました。様々な分野で若年層の声を拾い上げて生かしていきたいと思ひています。実際、区の環境政策を進めるにあたりまして、先程、産学連携ということで、大正大学や立教大学、特に立教大学さんは今年度環境学部が新たに設置され、そうした大学との連携にも取り組んでまいり

ます。また、豊島岡女子学園については、エコライフフェアなどの啓発イベントに参加していただいております。現在も連携を進めているところでございます。今後、それをさらにどのように広げていくか。小・中学校での授業、ヤゴの救出作戦ですとか、企業が参加した学校での授業というものも、東京ガスさんですとかサントリーさんですとか、協定を結んでいる事業所と連携している事業もあります。そういった機会をどんどん増やしていきたいというふうに考えています。

○委員

ありがとうございます。まさに委員の方々も連携されているところで、本当に素晴らしいなと思いました。引き続きよろしくお願いします。

○環境政策課長

ありがとうございます。

○会長

それではだいぶ時間も押してきましたので、特に他のご意見がなければ先に進めさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは今日は、その他として令和 8 年度新規・拡充事業についてのご説明があります。事務局からご説明をお願いします。

○環境政策課長

引き続きまして、令和 8 年度新規・拡充事業の説明のうち、資料第 1-5 号①令和 8 年度豊島区エコ住宅普及推進普及促進費用助成事業について説明させていただきます。

本事業につきましては、住宅用の再生可能エネルギー機器、省エネルギー機器の設置費用の一部を支援することで、地域全体の温室効果ガス削減を図るものです。対象は、区内に居住する個人住宅の所有者、居住者及び集合住宅の共用部分、居住部分に機器を導入した方です。助成対象の主な設備ですが、太陽光発電システム、蓄電システム、雨水給水槽、エネファーム、HEMS、断熱改修窓などがございます。令和 7 年度は非常に要望が多く、年度途中に予算上限に達してしまったため、令和 8 年度は予算を 1.5 倍に増やしまして、大幅に拡充増額し、要望する方すべてに対応できるようにしたいと考えているところでございます。今後、導入件数の状況や他自治体の動向等を踏まえ、品目なども研究をしてまいりたいと考えております。申請はすでにスタートしており、かなり順調な滑り出しをしまして、常に窓口へ申請にお越しになる状況となっております。こちらも状況を見ながら、こんな品目も追加してほしいという要望等があるかもしれませんので、そういった社会的に新たな高効率な省エネ製品等の研究等も含め、今後、区民の皆様への支援を進めてまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、路上喫煙所につきましては、環境保全課長からご説明させていただきます。

○環境保全課長

資料第 1-5 号②公衆喫煙所の整備について報告させていただきます。皆さまご存知かもしれませんが、豊島区は条例において区内全域で路上喫煙を禁止しております。路上喫煙者に対しては、民間委託しているパトロールによる注意指導を区内全域で行っています。ただ、こういった取り組みを行っているものの、路上喫煙者はなかなかなくなりません。こうしたことから、本区では公衆喫煙所の整備を現在進めているところです。資料 1 ページ目を見ていただきたいのですが、棒グラフが区民の声の地域別の点数を表したものです。区民の声というのは意見苦情を受けるツールになっておりまして、環境保全課で受ける区民の声の意見のほとんどが路上喫煙、喫煙所に関するものになっています。令和 5 年度は総数が 82 件、令和 6 年は 94 件、令和 7 年度が 116 件と苦情は伸びている状況になっています。内訳を見ていただきますと、池袋西口のエリアがやはり多く、次に東池袋、その次が南大塚です。こうした状況を踏まえ、苦情件数が多い地域、整備できる場所の有無、地域の理解、そういったものを踏まえて公衆喫煙所の整備を進めているところです。

続いて 2 ページ目をご覧ください。先程の苦情件数に基づいて公衆喫煙所の整備をしているとご説明しましたが、令和 7 年度 9 月に区内では初のコンテナ型の公衆喫煙所を池袋駅西口に整備しています。コンテナ型ということで密閉しているため、受動喫煙問題にも効果がありまして、このエリアのパトロールによる指導件数も減少しており、一定の効果があったと思っています。引き続き、こういった公衆喫煙所の周知を図っていければと考えております。

続いて、スライド 3 ページ目をご覧ください。こちらが今年度設置を予定している大塚駅南口の公衆喫煙所です。設置時期は秋頃のオープンを予定しております。こちらの設置場所ですが、住所は南大塚 2 丁目 45 番ということで、設置場所の両端に桜の木が生えておりまして、豊島区の花ソメイヨシノをあしらった地域に溶け込むデザインとしています。現在こちらの公衆喫煙所の整備ですが、部材を発注しているところで、秋頃にオープンできるよう引き続き進捗管理をしていきたいと考えております。大塚も入れると区営、直営の公衆喫煙所は 4 か所になりますが、この他にもいろいろと苦情件数が多いところがございます。そういった状況を踏まえて、今後も公衆喫煙所の整備を積極的に進めたいと考えております。

○会長

ありがとうございました。

○ごみ減量推進課長

資料第 1-5 号③をご覧ください。集積所における小型充電池式電池の回収です。豊島区では従前リサイクル協力店、JBRC の協力店ですけれども、リチウムイオン電池を回収してくれる電気屋さんが区内に大体十数店舗あります。そこを紹介するか、もしくは JBRC で回収できないような海外製のリチウムイオン電池や膨張したリチウムイオン電池については、ごみ減量推進課の窓口まで持ってきていただき回収していました。ただ、回収拠点が少ないことから、より利便性を高めるために令和 8 年 4 月 1 日から小型充電池式電池

の集積所回収を始めました。リサイクル協力店についてもリチウムイオン電池は回収することもできますし、集積所に唯一出せないものとして、膨張したリチウムイオン電池については火災発火の危険性も高いことから、ごみ減量推進課に持ってきていただければ処分いたします。

○会長

ありがとうございました。以上、大きく3つのご説明がありました。それでは、令和8年度新規・拡充事業について、何かご意見あれば引き続き挙手にてお願いします。

私から最初にお伺いしたいのですが、一番初めの助成ですけれども、どのぐらいの割合というか、どのぐらいの助成が得られるのでしょうか。何か提供していただける話があればお願いします。

○環境政策課長

まず、去年の申請状況からご説明いたしますと、一番多いのは蓄電システム、昨年145件でございます。次が太陽光発電で128件、断熱改修窓が83件で、断熱改修窓については、暑い時期になると非常に申請が増えてくる状況となっています。

住宅用太陽光発電システムについては上限が8万円です。それから断熱改修窓につきましては10万円、蓄電システムは5万円、LED照明機器は20万円、エネファームは8万円、住宅用エネルギー管理システムというHEMSは2万円です。

○会長

なるほど、結構頑張っていらっしゃる感じで、ありがとうございます。おそらく都の補助金や国の補助金もありますので、組み合わせるとかなり助成がある、補助があるということになるかなと思いますし、いろいろつけていくとおそらく電気代も安くなったりすることもあるかなと思いますので、ぜひこういったものをいろいろなところで広報していただくといいかなと思っています。

○委員

資料第1-5号①の助成に関してですが、私もこちらを拝見しまして、一言申し上げます。実は自宅の話ですが、LED照明に変えたいとずっと以前から思っているのですが、ダウンライトにつけている蛍光灯がメーカーの型番が変わってしまい手に入らないのです。ネットなどで購入できても、以前より5倍も6倍もするような状態です。LEDに変えたいと思っているのですが、区のホームページなどの二次元コードを検索してもあまりLED照明に関しての説明が載っていなかったのです。もちろん問い合わせ先がありますので、環境政策課さんに問い合わせればいいことですが、「大きな設備を交換するよりもLEDなら簡単に換えられるからやってみよう」と思う区民は結構多いと思いますので、ぜひLEDの部分も二次元コードなどで検索すればわかるようにしていただき、「問い合わせをしてみよう」と、そういう気持ちになるような説明をもう少し加えていただけるとよろしいかなと思いました。

○環境政策課長

ありがとうございます。ホームページが見つらいとなかなか申請もどうしていいのかわからない、どういう効果があるのかわからないというところもあると思いますので、わかりやすい周知を心がけてまいりたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。お願いします。

○委員

先程の省エネ助成金に対する意見と要望がありまして、意見としましては、今の LED の話でおそらく来年、蛍光灯の製造が終わるような動向があるかと思うので、そのあたり、やはり古い機器を長期使っていることが危ないということを併せて周知されると、より LED の更新が進むかなというところがコメントになります。

もう一点は、再生可能エネルギーへの切り替えのインセンティブが区民として欲しいなと思ひまして、助成は難しいと思うのですけれども、なかなか切り替えたからといって電気代が下がるかというところではないケースも多いと思います。一方で、先程の温室効果ガスの排出の削減という点では、やはり電源というか、変わっていくことが効果的かと思ひます。私自身が新エネルギー、再生可能エネルギーに切り替えることを踏みとどまっているところがあるので、何か区としても切り替えることで、難しいかもしれませんが何かメリットがいただけると嬉しいなというのが区民としての意見です。

○環境政策課長

ありがとうございます。どういうメリットがいいか検討してまいりたいと思ひます。

○会長

ありがとうございます。何かこういうのがあったらいいなというものはありますか。

○委員

なかなかお金で還元は難しいのですが、何かお得というか、皆さんにもご意見いただきたいのですが、こんないいことがあるのだということが区民の中でも広がれば、切り替える第一歩になるのかなと思ひました。変えたほうがいいことはわかっていると思ひますが、手間というか、なかなか後回しになるので、区としてもぜひ後押ししていただけるとありがたいです。

○会長

電力変えるのはいろいろと知恵を絞る必要があるかもしれませんが、例えば太陽光発電に変える場合ですと、補助がどのぐらい、初期投資がどのぐらいかにも関わってくるかもしれないですが、確実に電気代は下がりますよね。もしかしたらそういう効果、家計に及

ぼす効果なども出していただくとわかりやすくなるのかなという感じはしました。ぜひそういう声をたくさん出していただけるといいなと思います。

○会長

オンラインで挙手されていますので、よろしければ続けて発言いただいて、こちらからフィードバックしたいと思います。

○委員

資料第 1-5②屋外の喫煙所ですけれども、昨年 9 月に西口公園に設置された時には、何日か環境政策課、環境保全課と協力して、大学の学生も動員して周辺で啓発活動やごみ拾いなどもさせていただきました。そういった地道な環境教育がやはり割と重要なこと。他の区民にも見られるというところで重要なことだと思います。今回秋ぐらいに大塚駅周辺にまた新たに設置されるということです。大塚駅周辺も大正大学は地元の一つでございますので、改めて協力させていただきたいというふうに思っております。お声がけをいただければ、環境意識啓発というところで、私のゼミ生などもご協力させていただきたいと思います。

○会長

続いてお願いします。

○委員

ありがとうございます。ほぼ同じことですが、まず資料第 1-5②からいきますと、私のゼミ生も実はたばこのポイ捨てを卒業研究している学生がいて、今年も 3 回生に 2 人ほどいます。去年、実は池袋駅東口の喫煙所、その周りについて、朝 6 時と夕方 6 時に定点観測でその周りも含めてたばこのポイ捨て状況を調査いたしました。その結果、朝 6 時の状態であっても数百本くらい毎日落ちている。喫煙所に吸い殻入れがあるにも関わらず、です。学生は、朝にそこにいた人についてちょっとヒアリングをさせていただいているのですが、夕方になると今度はお酒を飲んでいる人が多く、怖くて話しかけられなかったということもありました。分かったことも 5 つくらいあったのですが、こちらについて、こういうふうにしたらポイ捨てが防止できるのではないかとことをいくつか考えています。豊島区さんと一緒に協力してやっていただけたらなと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

他にも 2 つありまして、最初の補助金についてどんな良いことがあるのか、先程お話がありましたが、私は 2 年前から住んでいるマンションですけども、全ての世帯において断熱窓に交換しました。ものすごい効果です。本当に断熱効果が素晴らしいので、個人的には非常におすすめしたいと思っています。その時は、国と環境省と都の補助金をいただいたのですが、これにプラスして区の補助金があるとすごくいい話だと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

最後はリチウムイオンですね。1の集積所に出されるものの一例のリチウムイオン電池の絵の中に、乾電池仕様のようなもしかすると繰り返し充電できるニッケル水素電池ではと思うのですが、誤解が生じないかなと少し心配になりました。

○会長

ありがとうございます。共通してお二人がおっしゃっていたことが学生さんの動員、若い力を活用しながら参加してくれる人たち、学生さんたちへの教育効果もかなりあると思います。ゼミ生でそういうことを研究されている方もいるというお話でしたので、豊島区内の学校は他にも立教大学などもありますので、ぜひ後半に若い方の力を活用しながら、こういったことをやっていくといいのではないかなと思いました。それでは事務局の方からお願いします。

○環境保全課長

本当に嬉しいお言葉をありがとうございます。これまで大正大学さんはいろいろな清掃活動ですとか、付近の啓発活動にご協力いただいて本当に助かっています。先程の委員がおっしゃっていたとおり、清掃活動というのがごみを取って物理的に街が綺麗になるという点と、あとはそういう清掃活動を周りの方に見ていただいて、抑止力になるということもすごく効果としてあると思っています。引き続き、区と大正大学さんと連携しながらこうした清掃活動ですとか、それに留まらずいろんなことで連携していければと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

○環境政策課長

先程、断熱窓の話がございました。助成事業の対象の品目からどのような効果があるかというところで、なかなか現状として区で周知している、お知らせしている案内パンフレット等にはそこまで盛り込まれていない、具体的な申請方法が書いてあるのですが、そのあたりをどのように周知していくかしっかり研究してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

○ごみ減量推進課長

ご指摘いただいたリチウムイオン電池の中に、細長い円筒形の電池、これがリチウムイオン電池ではなくて水素の電池、または別の電池ではないかというご指摘ですが、作成した際に JBRC のホームページを見ながらまとめたのですが、再度確認したいと思います。

○会長

ありがとうございます。お話を伺いながら気になったのですが、4番目のところで他と混ぜていくと衝撃とかがあった時に燃えるといけないということですが、それだけで出しても何か衝撃効果があって燃えると危険だなということも、最近よく報道でトラブルがあったりしますので、そのあたりの注意喚起も同時にしていくといいのかなと思いました。

○委員

2点ご意見させていただきます。一つ目は先程、再生可能エネルギーを切り替えるきっかけという意味で、他区の事例になるのですがやはり2万円のポイントバックなどされている江戸川区さんや足立区さんなどがありますので、参考に少し動向を見てみてもいいかなと思いました。もう一つは、助成金でいろいろ出されているところで、家庭用のCO₂の中に熱の脱炭素化というのでも検討していかないといけない項目だと思ってまして、最近の国や東京都の動向ですけれども、改めて別の脱炭素化というところにもフォーカスをしており、具体的には給湯器。ガスや灯油、給湯器の中でも高効率のタイプの給湯器があり、そちらを確実に設置することによって10%、15%ぐらいの省エネになるということですので、助成金もそうですが、どちらかというと啓蒙というのでしょうかね、そういった機種をちゃんとつけていきたいと思いますというような、そういったところもやっていくといいかなと思いました。

○会長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしくお願いします。

○委員

喫煙所の件で質問したいのですが、喫煙所を使う人って結構、初めてその駅に降りた方、地元の方じゃない方がタバコを吸うので、地元の方だったらいいのですが、東口などはちょうどロータリーの真ん中にあるからわかりやすいですね。一方で、西口は西口公園の奥の方ですね。すごくわかりづらいし、大塚ですと南口の一番外れの方で駅から少し離れています。そこへアナウンスできるような何か表示みたいなものがないと、そこまで行って吸わないと思うので、そのあたりの工夫が一つあっていいかなと思いました。

○会長

非常に貴重なご意見だと思います。

○環境保全課長

ご指摘ごもっともで、昨年池袋西口の喫煙所を設置した際も、やはり遠いのでなかなか利用されないという声がありました。そのため周辺企業や居酒屋ですとか、そういったところにステッカーを配って周知していただくよう協力を依頼しています。大塚につきましても、南口を出てやや距離があるので同じような形で普及啓発や、周辺企業の方にもご協力いただいて、周知徹底に努めてまいりたいと思っております。

○委員

ありがとうございます。タバコを吸う方は喫煙所を探します。探すのですが、その時に何か地図みたいなものが目に付くところにあればきっとそこへ行くと思うのですよね。私

はタバコ吸いますのでよくわかるのですが、喫煙所を必ず探します。でも（喫煙所が）ないとどうしても喫茶店に入っちゃったりするのですよ。ですからそのあたりもぜひ。

○会長

実体験に基づく貴重なご意見でありありがとうございます。タバコ吸う方は、口コミといいますが、あそこで吸える、みたいなことがあるのでしょうか。

○委員

一回でもそこで吸えばいいのですが、初めて行く場所だとわからないですね。

○会長

なるほど。非常に切実で重要なご意見、大事です。ありがとうございます。当事者からのご意見、非常に大事だと思いますのでぜひ参考にしていただければと思います。その他、いかがでしょうか。

○会長

それではお願いします。

○委員

今の喫煙所のお話ですけれども、西口の喫煙所はよく前を通るのですが、思ったより匂いがしないな、喫煙所独特の匂いがあまりしないなと思います。やはり密閉されていることと、最初にドアを開けたところが電子タバコのエリアで、電子タバコのエリアを入っていないと紙タバコのエリアにならないので、おそらく匂いがそんなしないのだと思いました。それよりも気になるのは、ドアのところで、ものすごい数の人が行き来するので、バタンバタンと音がすごいんですね。今はこちらが気になっている感じです。それから、先程もありました池袋駅東口のロータリーの喫煙所が全くのキャパオーバーで、本当になぜあの人数がいるのにこの広さなのだろうと。（吸い殻が）数百本、地面に落ちているというのは本当に納得です。一番酷かったのは忘年会シーズン12月の夜ですね。信号待ちのエリアでもあるので、信号待ちエリアがもうなくなっているほど。全員、喫煙所がある中洲のところで黙々と煙が上がっていて、12月の飲み会帰りの時間などは信号が渡れないほどになっていました。昔は少し先の方に喫煙所のような場所があり、撤去されたような気がしたのですけれども、もう少しキャバを考えていただければなと思いました。

○会長

ありがとうございます。世の中としては、だんだん喫煙者も減ってきているようには思いますけれども、やはり季節によってはそういうことも起こるということですかね。他にご意見ありますでしょうか。

○ごみ減量推進課長

先程のチラシですが、集積所における小型充電式電池の回収の集積所に出せるものの一例で、リチウムイオン電池が描かれているところの細長い円筒状の電池がリチウムイオン電池ではないのではないかというご質問がありました。ホームページ等で調べてみますと、このような円筒形のリチウムイオン電池は存在しておりますので、特に間違いではないです。

○会長

ありがとうございます。それでは時間になりましたので、挙手もありませんので、このあたりでご意見一回閉じさせていただきたいと思います。

本日の議題は以上となりますけれども、その他全体を通して何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

○委員

先程の倒木の問題がありましたけれども、東京都でも4月に一斉点検をして、目黒区では5月に一斉点検をしたというニュースが出ていました。豊島区では倒木の一斉点検などは行っているのでしょうか。

○公園緑化課長

豊島区では、公園、街路、学校等に樹木がございます。定期的に点検しており、危ないものについては状況に応じ、伐採もしくは経過観察するなどの対応をしています。毎年ではないですが、樹種や状況も見ながら定期的に観察チェックをしています。

○委員

もう一点は野生動物の件ですが、雑司が谷や西池袋の辺りでハクビシンを見た、夜中に庭の塀をアライグマが歩いていたなどの声があります。環境政策課に伺ったところ、ハクビシンやアライグマの通報、連絡センターのようなところがあるそうですので、ぜひポスター等を作って告知していただきたいと思います。

○環境保全課長

豊島区でハクビシンやアライグマが発生した場合は、環境保全課にご連絡いただければ、罠を仕掛けて、罠に引っかかったら回収するというのも事業としてやっておりますので、ぜひそういった目撃や、家に発生することがありましたらご連絡をいただければと思います。令和7年度は豊島区内でハクビシンが22匹捕獲されており、アライグマは1匹です。

○会長

ありがとうございます。何か人間に害を及ぼしたりはするのですか。

○環境保全課長

人間に害は及ぼさないのですが、例えば庭に生えている果実といったものが食べられる、そういったことはございます。人間に害を与えることは特にはないと思います。

○会長

他はよろしいでしょうか。

○委員

資料全般を見ていて感じたことですが、環境事業全般の共通のキャラクターがいても浸透しやすくいいのかなという印象を受けました。

○会長

これはなかなか行政の方ですと目の届かない話かと思いますので、ぜひそういうこともご検討いただければと思います。我々大学側では、学生に募集して作ったりするとコストもそれほどかからず、むしろ皆さん参加意識が出てきて良いということもあるので、非常に面白い興味深い話だと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。

○会長

それではこれをもちまして、第7期第1回豊島区環境審議会を閉会させていただきます。ご出席いただきまして、また様々ご意見いただきましてありがとうございます。最後に事務局から連絡事項をお願いします。

○環境政策課長

長時間ご審議いただきましてありがとうございます。

2点ほど連絡事項をお伝えいたします。1点目、冒頭にも申し上げましたけれども、本日の会議録についてです。この後直ちに会議録作成作業に入りまして、委員の皆様には内容のご確認の依頼をさせていただく予定でございます。会議録ですが、原則として会議でのご発言をそのまま記録させていただくものとなりまして、ご発言にお間違いがないかのご確認になりますのでよろしくお願いいたします。皆様にご確認いただきました上で、区のホームページに掲載させていただきます。

2点目、次回の審議会です。次回の審議会は10月下旬から11月上旬あたりを予定しています。事務局から開催のご案内など改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。なお、駐車場をご利用の方につきましては、駐車券に押印をさせていただきますので、受付にお持ちいただけますようお願いいたします。以上です。

○会長

それではこれをもちまして、第1回豊島区環境審議会を開会させていただきます。ありがとうございました。

提出 された 資料等	【資料第 1-1 号】 豊島区環境審議会規則 【資料第 1-2 号】 第 7 期豊島区環境審議会名簿 【資料第 1-3 号】 豊島区環境基本計画（2025-2030）について 【資料第 1-4 号】 区内の温室効果ガス排出量について 【資料第 1-5 号】 令和 8 年度新規・拡充事業等について
---------------------------	---